男女共同参画推進室便划

2007年12月10日発行

男女共同参画推進室ニュース 第1弾発行によせて

男女共同参画推進室長 朴木佳緒留

男女共同参画推進室が設立されてから、10ヶ月が経ちました。この間、理系の女性研究者支援事業(再チャレンジ!神戸スタイル)に取り組んできました。 事業立ち上げ時のあわただしさが過ぎ、全学の事情を見渡す余裕も少しは出て参りました。

今月から、およそ2ヶ月に一度の割合で「男女共同参画推進室便り」を発行いたします。

創刊号である本号はこの間の取り組みを中心に編集しましたが、今後、男女共同参画に関わる情報や資料を掲載する予定です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

第5回男女共同参画学協会連絡会に参加しました

10月5日(金)に名古屋大学で行われた、男女共同参画学協会連絡会は,自然科学分野の男女共同参画を進めるために,5年前に発足し,約60の学協会が加盟しています。「地域連携」をテーマとした分科会では,「再チャレンジ!女性研究者支援神戸スタイル」事業の概要と,兵庫県や大学コンソーシアムひょうご神戸との連携(予定)を説明し,地域連携の充実により,女性研究者採用比率20%を達成しやすくなることを報告しました。また,ポスターセッションでは「神戸スタイル」について発表し,他機関で男女共同参画に携わる方々と意見交換を行い有益な機会となりました。

活動報告

人間発達環境学研究科准教授近江戸伸子

農林水産省に関連する独立行政法人農業生物資源研究所(つくば市)における女性研究者の採用状況について調査した。ポスドクを任期つき研究員として、3-5年採用に、その後、研究所内の採用委員会において、当該者の業績評価を行い優秀な人材を常勤として雇用する制度をとっている。大学の1ポストに対しての募集ならびに採用とは異なり、臨時採用をおこなうために、女性研究者採用数の拡大に非常に貢献している。

科学技術振興調整費「再チャレンジ!女性研究者支援神戸スタイル」活動報告

インキュベーションシステム

「業務の目的

インキュベーションシステムでは、女性研究中断者が積み重ねることができなかった総合的な研究力をキャッチアップするため、女性研究者人材バンクを構築し、その運用を図ります。その一つとして、人材バンク登録者で育成研究員に応募された方を本学内の研究グループに配置し、総合的な研究力をキャッチアップさせます。さらに、育成研究員の中から、特に優秀な研究者を本学で任期付教員として採用するとともに、他大学や企業等へも常勤研究者として輩出するための支援をします。

「業務の経過〕

平成19年度の育成研究員の採用は終了し、3名の方を学内の研究チームに配属しました。各育成研究員は、受入れ責任者の先生方の指導の下で研究を開始したところです。人材バンクは現在17名が登録し、運用の実効性を高めるための方法を模索中です。なお、人材バンクは常時登録を受け付けています。

「業務担当者の紹介]

インキュベーションコーディネーターの北村泰壽特命教授とサポートスタッフの近藤佳里科学技術研究員が担当しています.

メンターラボ

[業務の目的]

女性研究者の良好なワーク・ライフ・バランスの維持と研究継続を支援するため、メンター制度を整備します。メンターとは、研究以外にもさまざまなことを気軽に相談できる経験豊かな研究者です。神戸大学キャンパスで「キャリアカフェ」を開催し、若手とメンター

研究者(名誉教授,第一線で活躍する現役研究者など)が出会える場所を提供するほか,ウェブ上にメンターラボサイトを立ち上げ,メンター相談窓口の提供と、研究情報の提供による研究支援をおこないます.

[業務の経過]

人間発達環境学研究科でのキックオフキャリアカフェ(8月)を皮切りに,工学部学生ホール(10月),自然科学総合研究棟3号館(11月)でキャリアカフェを開催しました.各分野で活躍中の女性研究者を招き,女性研究者のキャリア形成の現状や研究力向上のヒントなどを話題に,学生・若手研究員と経験豊富な研究者が歓談しました.次回は12月21日,工学部学生ホールで開催します.

[業務担当者の紹介]

メンターラボコーディネーター櫻井香織特命助教と西谷今日子科学技術研究員が担当しています.

神戸大学男女共同参画推進室

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL 078-803-5017 FAX 078-803-5285

Email: kyodo-sankaku@port.kobe-u.ac.jp

HP:http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/index.html

男女共同参画推進室のシンボルマークができました.

